

令和5年6月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	5	議席 番号	6	氏名	中 野 健太郎 議員	1 / 1
発言項目				要 旨		答弁者
1				ビジネスコネクトの 拡充による産業振興に ついて	<p>中小企業者のためのワンストップ経営相談窓口「ビジネスコネクトふじのみや(以下「ビジコネ」という。)」が令和2年度に開設された。令和3年度の相談実績は4,756件に上り、富士宮信用金庫、富士宮商工会議所及び芝川商工会との協定により、それぞれの強みを生かした伴走型支援体制を構築されていることは高く評価されるものである。</p> <p>一方、昨今の経済情勢に目を向けると、新型コロナウイルス感染症により売上げが減った企業に実質無利子・無担保で融資する国のゼロゼロ融資の返済開始時期が今年7月から来年4月に集中する見込みとなっていて、過剰債務に陥った中小・零細企業の倒産の増加が懸念されている。ビジコネに求められる期待は高く、市内事業者の販路拡大等、収益確保を目指す支援体制の強化を求めたい。以下質問する。</p> <p>(1) 前年度の相談実績及び事業効果に対する所見は。</p> <p>(2) SNSのフォロワー数が少ない(例：ツイッターフォロワー数185)。さらなる周知が必要ではないか。</p> <p>(3) コーディネーターの増員をはじめ、機能の拡充を図り、ゼロゼロ融資問題にもより積極的に取り組んでいくべきと考えるが、いかがか。</p> <p>(4) ビジコネの新たな展開が考えられないか。</p>	市 長 副 市 長 関係部長
2				交流センターの活用 と将来展望について	<p>平成26年度に富士宮駅前交流センターがオープンして以来、大富士交流センター、富丘交流センターが順次共用を開始し、新たな地域の交流拠点となっている。社会教育施設である公民館から多機能化が進み、防災拠点、地域の活力創出の場等としても今後の活用を期待したい。以下質問する。</p> <p>(1) 富士宮駅前交流センターと富丘交流センターは公民館からの置き換わりであると認識しているが、利用者数、利用頻度及び利用目的にどう変化があったのか。</p> <p>(2) 人間関係の希薄化が叫ばれる中で、参加しやすい地域コミュニティ活動の在り方を模索すべきと考える。「富士宮市公共施設再編計画」では、「地域コミュニティの維持、強化に向けた拠点づくり」を掲げているが、交流センターの整備に当たり具体的な方策を取り入れているのか。ハード及びソフトの両面から伺う。</p> <p>(3) 整備に向けて準備の進む(仮称)富士根交流センターの進捗状況と、検討されている機能は。</p> <p>(4) 南部公民館は建築後40年を経過し、合併前の富士宮市で建設された公民館では最も古い公民館となっている。(仮称)南部交流センターの建設を念頭に置いて公共施設の再編をすべきと考えるが、いかがか。</p>	市 長 副 市 長 関係部長